

「頼れる身寄りのない方」を地域で支える仕組みづくり ～県内初の多分野ワークショップを開催～

焼津市では、家族や親族からの支援を受けることが難しい「頼れる身寄りのない方」を、地域全体で支える仕組みづくりに向け、困りごとマルっとサポート事業（重層的支援）により今年度から検討に着手します。

その第一歩として、医療、介護、障害福祉、金融、居住、権利擁護、葬祭などの関係者が一堂に会し、『現場の課題』をそれぞれの分野から抽出して整理する「地域課題検討ワークショップ」を開催します。

「頼れる身寄りのない方」への支援をテーマに、これらの多分野の関係者が参加するワークショップの開催は県内初となります。

■「頼れる身寄りのない方への支援」地域課題検討ワークショップ

日 時 10月13日(火) 午後1時～3時30分

会 場 総合福祉会館（ウェルシップやいづ） 多目的ホール（大覚寺3-2-2）

参加者 医療、介護、障害福祉、金融、居住支援、権利擁護、生活困窮支援、葬祭などに係る関係者及び、警察、市関係課 など

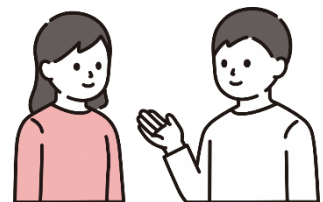
内 容【基調講演】

慶應義塾大学教授 駒村康平（こまむら こうへい）氏

慶應義塾大学特任講師 尾川宏豪（おがわ ひろひで）氏

【参加者同士によるワークショップ】

- ・地域の現状の共有
- ・グループによる意見交換と全体共有



【開催の背景と今後の展開】

単身高齢者の増加や家族形態の変化を背景に、国は「頼れる身寄りのない高齢者等への支援」を地域共生社会の重要課題と位置付け、支援のあり方や制度整備を検討しています。

本市でも、入院・入所の手続き、緊急連絡先、金銭管理、居住支援、意思決定支援、死後事務などの課題が、さまざまな分野で顕在化しています。当日は現場の困りごととその背景を可視化するとともに、抽出した課題を整理し、既存制度の改善、多機関の連携強化、新たな施策の検討と、地域全体で支える仕組みづくりにつなげます。

問合先

焼津市健康福祉部 福祉政策課 重層的支援推進室 河口
TEL054-631-5530 FAX054-626-2187